

市長の市政運営を
問う創造みらい半田
石川英之

問 今年度で最終年度を迎える第6次半田市総合計画について、市長自身の評価はどのようですか。

答 行政と市民がともにまちづくりを行う市民協働の推進に取り組んできました。その積み重ねの結果は、市民評価委員の会からも評価いただいております。成果は得られたと考えています。ただ、市民の皆様が満足いただけの結果が出せなかった課題もありますので、来年度から始まる第7次の計画にも盛り込んでいきます。

問 今年度は市長の3期目最終年度にあたりますが、今後も市政のことに取りをしていく予定なのでしようか。

答 第7次の計画が始まる来年度は、半田市にとって転機の年になると思います。世界的な価値観が変わっていく中、柔軟に対応できる新しいリーダーにつなげていくことが、私の役目だとも

感じています。ただ、だ半年以上任期が残っていますので、12万市民の幸せのため、精一杯務めさせていただきます。

問 実質として引退表明をされたと考えてよろしいですか。

答 そうです。しかしながら、年明け早々に来年度の予算編成も控えておりますし、コロナ対策も職員一丸となって進めていかなければなりません。あと半年、当局と議会がそれぞれ切磋琢磨して、市民のために全力を尽くして頑張っていきます。



半田市議会と常滑市議会で合同議員勉強会を開催しました

議会で共通のテーマを設け講師をお招きして勉強会を開催しています。

開催日時 11月25日(水) 午後2時～

場 所 常滑市役所 2階大会議室

講 師 株式会社NTTドコモ東海支社

法人営業部ビジネスデザイン・ICTデザイン課長 おきの 沖野 ただし 直 氏

テ ー マ オンデマンドシステム及び将来のモビリティについて

～MaaS時代に向けたドコモのモビリティ分野の取り組み～



常滑市議会との合同勉強会の様子

地域交通が抱える課題と現状について理解を深め、デマンド交通の必要性や地域の特性にあわせたAIバス等の新しい交通の仕組みについて学びました。

今後の本会議の予定

3月定例会

2月22日(月)から3月26日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します